

PDA,PDB,PDC,PDチェーンガード

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数
① 本体	1

②PDCステンレスビームセット

名 称	員 数
② ステンレスビーム $\phi 50 \times t3$ SUS300(#400)	1

③中間柱セット

名 称	員 数
③ 中間柱(PDA,PDB,PDC,PDチェーンガード用)※1	1
④ キャップ	1
⑤ キャップ取付ビス M4×15サラ小ネジ	2

④端末柱セット

名 称	員 数
⑥ 端末柱(PDA,PDB,PDC,PDチェーンガード用)※2	1
④ キャップ	1
⑤ キャップ取付ビス M4×15サラ小ネジ	2

⑤PDB取付ブラケットセット

名 称	員 数
⑦ PDBブラケットA	2
⑧ PDBブラケットB	2
⑨ 取付ボルト M10×75六角ボルト	2
⑩ 取付ナット M10六角袋ナット	2
⑪ 取付平座金 M10用平座金	4
⑫ 取付バネ座金 M10用バネ座金	2

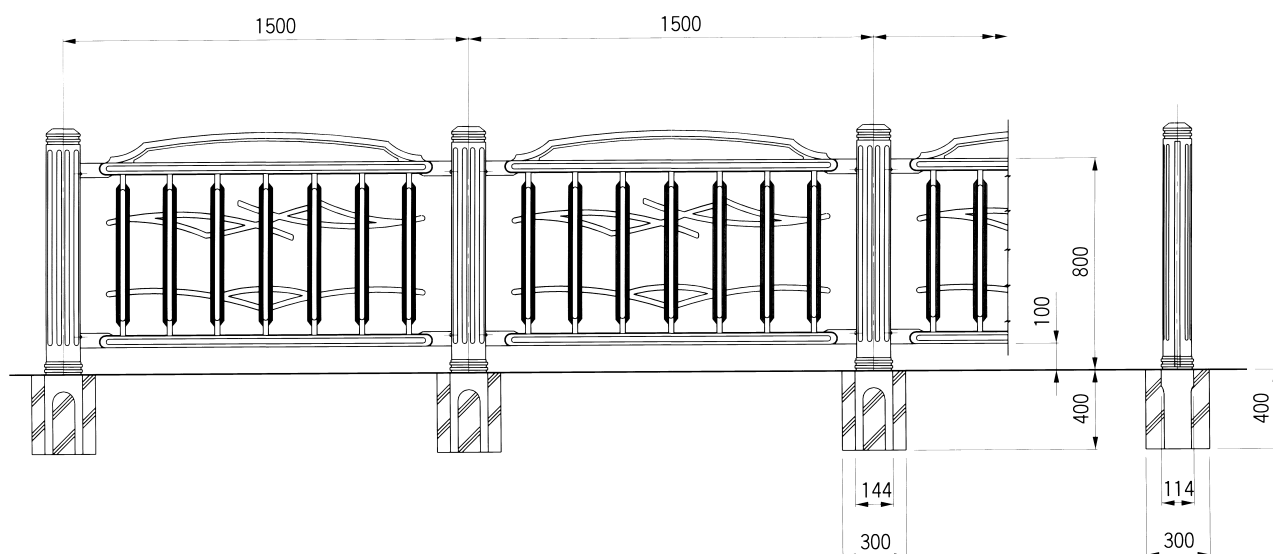
⑥PDC取付ブラケットセット

名 称	員 数
⑬ PDCブラケットA	2
⑭ PDCブラケットB	2
⑨ 取付ボルト M10×75六角ボルト	2
⑩ 取付ナット M10六角袋ナット	2
⑪ 取付平座金 M10用平座金	4
⑫ 取付バネ座金 M10用バネ座金	2

※1、※2 柱は、PDA,PDB,PDC,PDチェーンガード用それぞれ専用です。

1-1.基本寸法および施工図

PDA-A 15-8

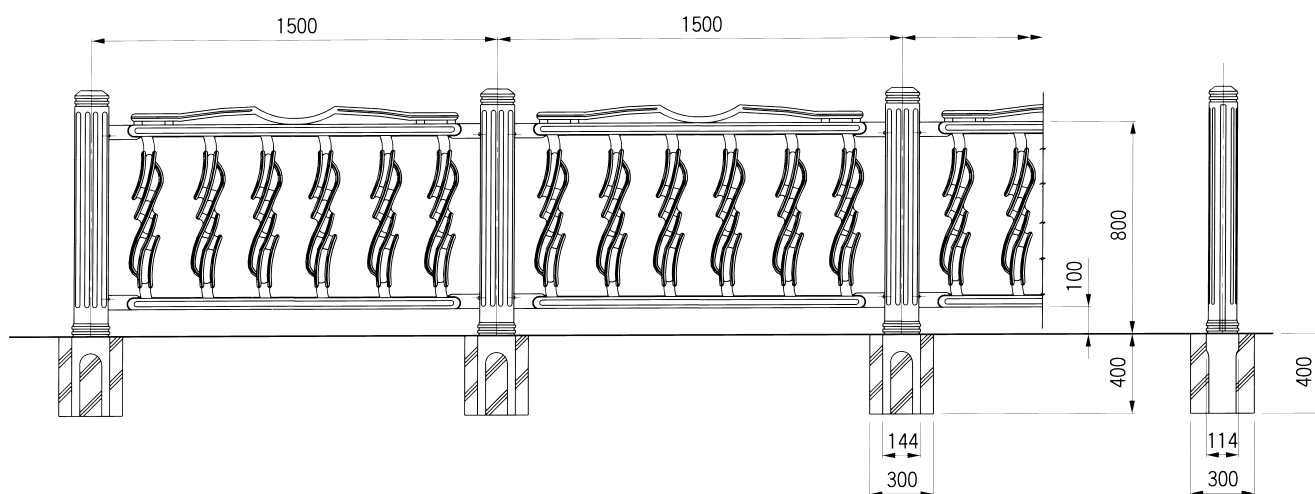


<注意>

意匠に表裏があります。縦格子がある面が表面です。

1-2.基本寸法および施工図

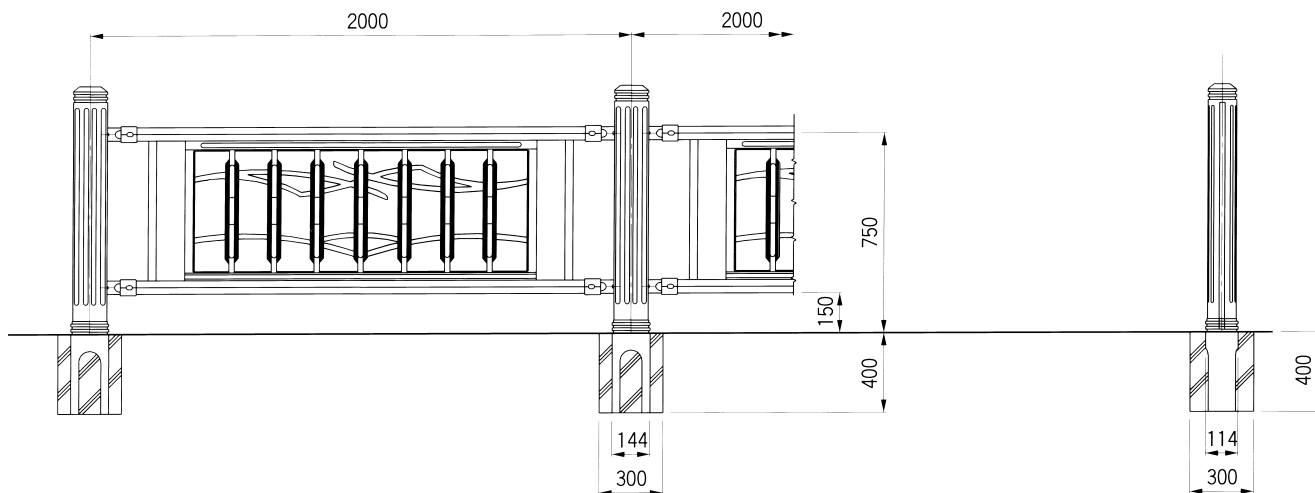
PDA-B 15-8



<注意>

意匠には表裏があります。上図の様に見える面が表面です。

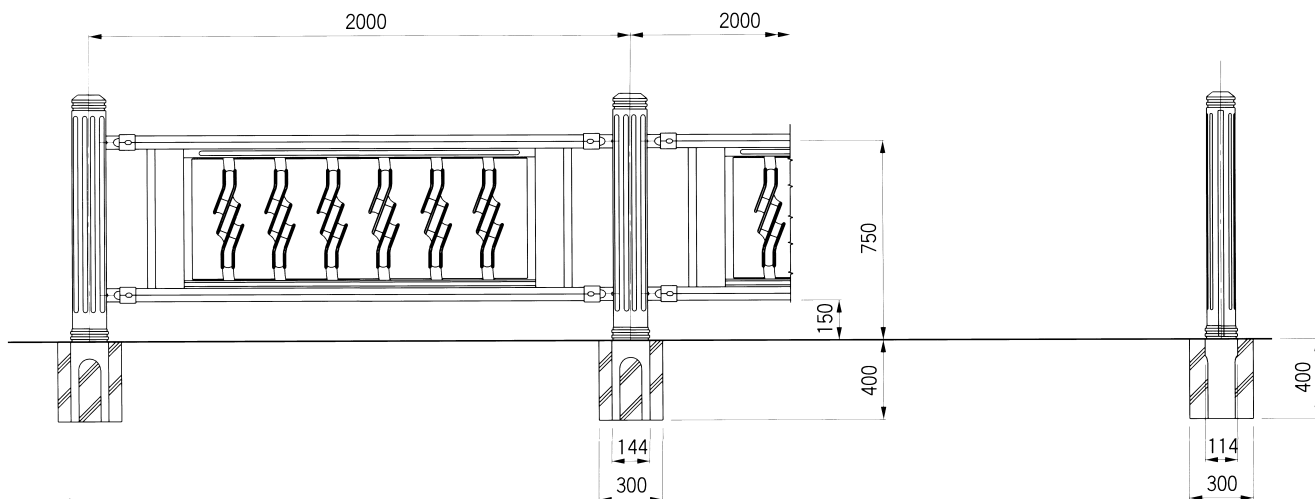
PDB-A 20-8



<注意>

意匠には表裏があります。縦格子がある面が表面です。

PDB-B 20-8

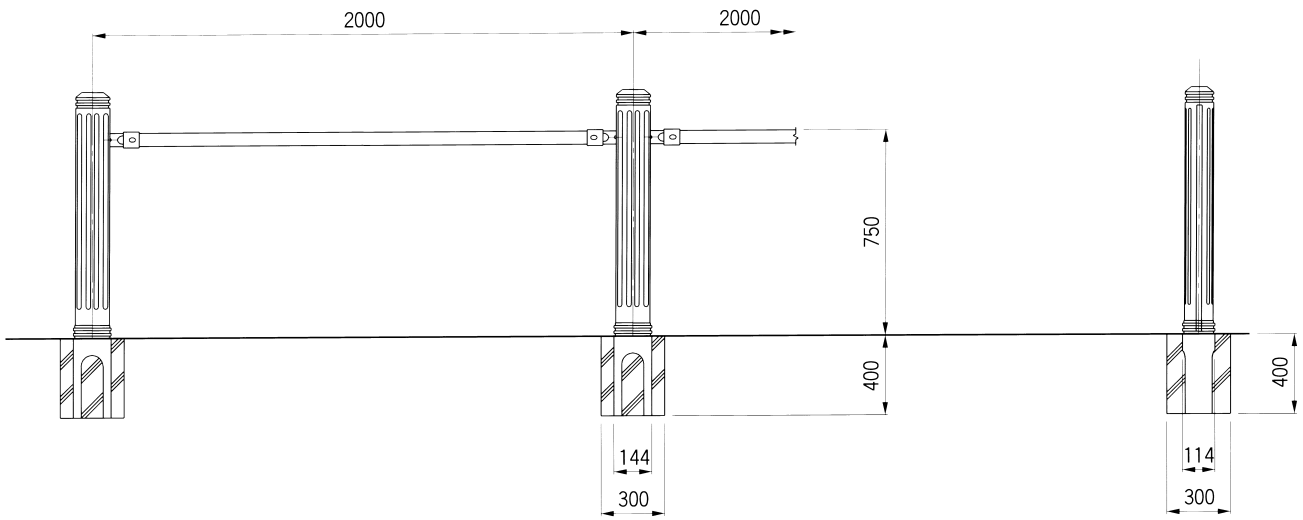


<注意>

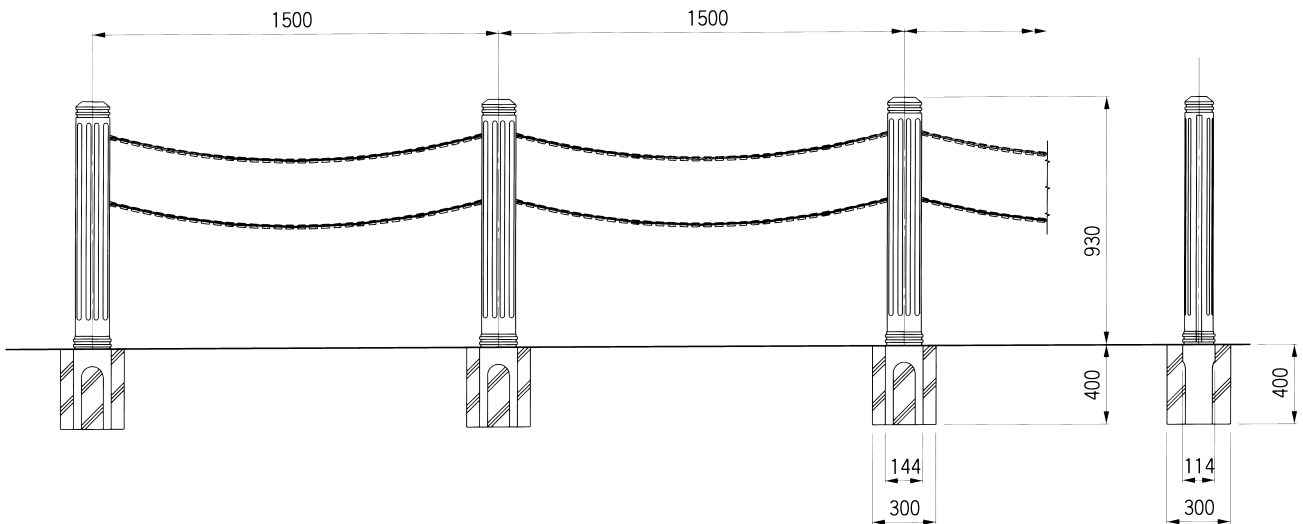
意匠には表裏があります。上図の様に見える面が表面です。

1-3. 基本寸法および施工図

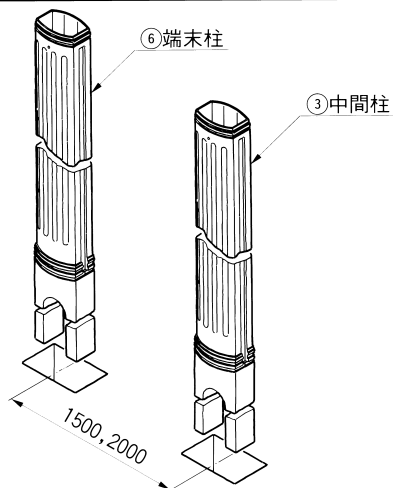
PDC 1-20-7



PDチェーンガード



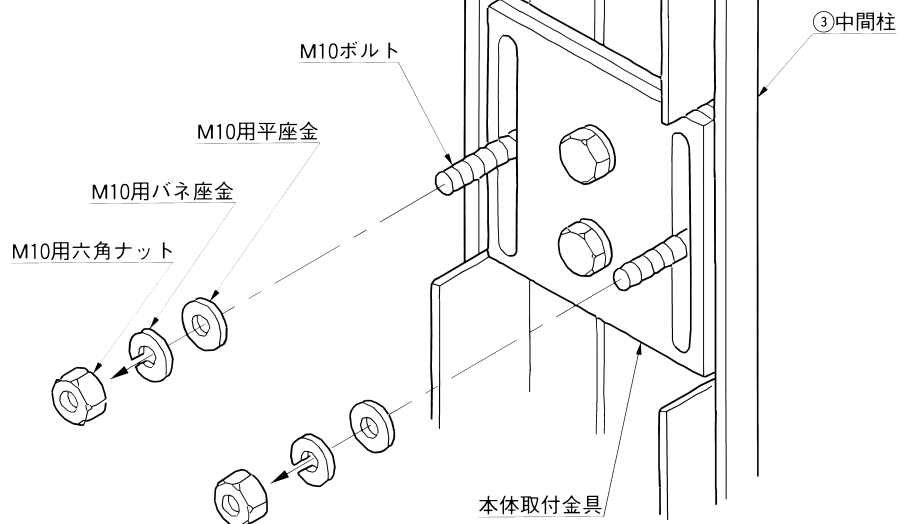
2. 柱の施工



- PDA型、PDチェーンガードは1500ピッチ、PDB、PDC型は2000ピッチであらかじめ埋設された基礎あるいは、下穴に柱を設置し、レベル、通りを出してコンクリートにて十分硬化させて下さい。

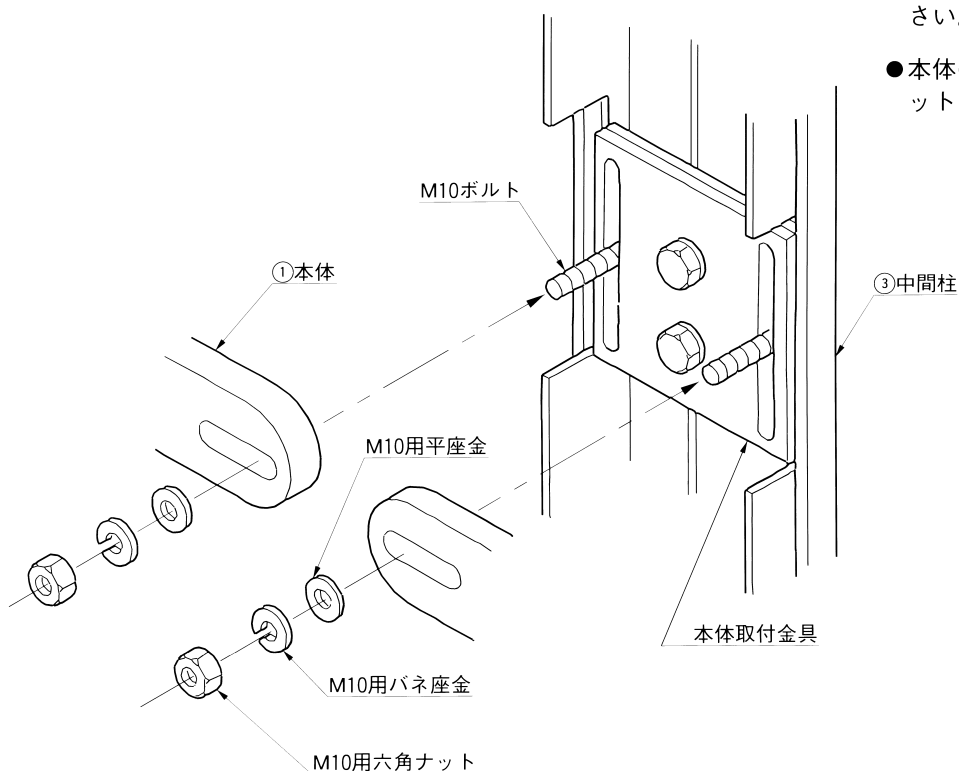
3-1. 本体の取付け(PDA型)

- 柱が確実に固定されたら、M 6 用六角レンチで柱カバーを取り外して下さい。
- 柱の本体取付け位置に図の様な金具がありますので、その金具に仮止めしてあるM10六角ナットを外しておいて下さい。

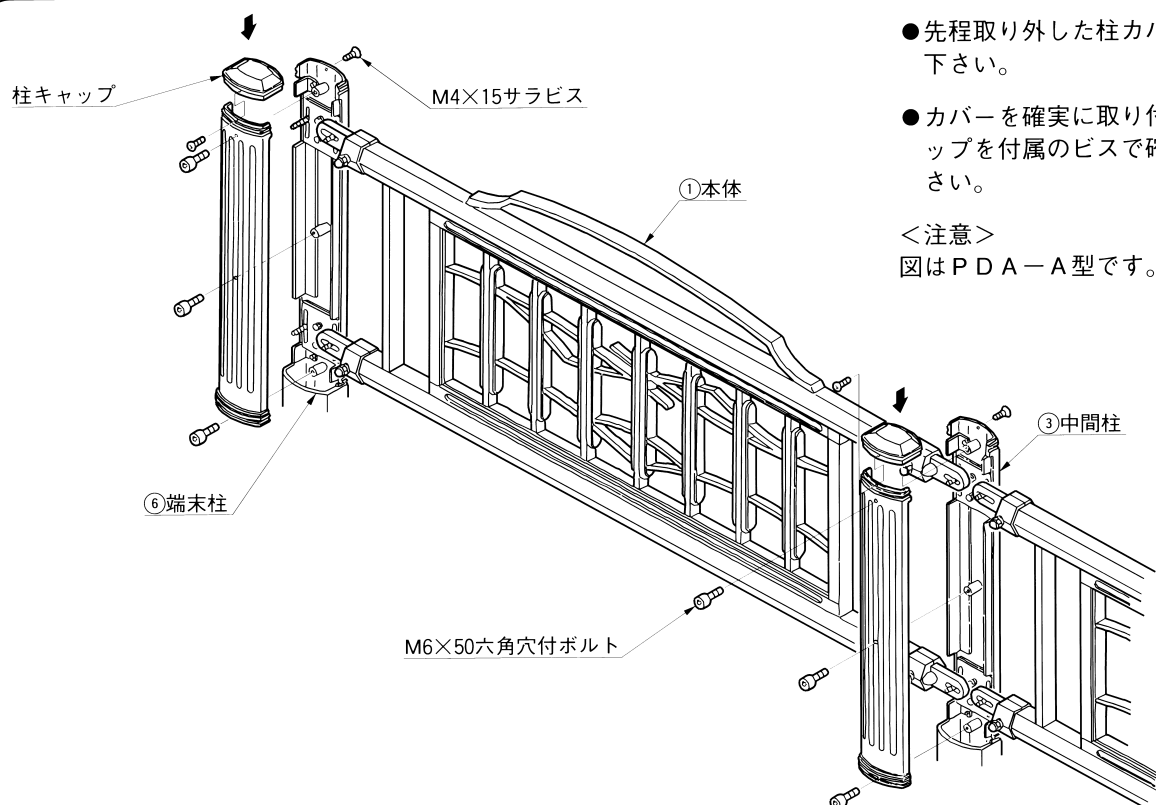


3-2. 本体の取付け(PDA型)

- 本体の上下の取付穴を柱の取付金具のボルトに通し、ナットで締め付けて下さい。
- 本体のレベル、通りを調整し確実にナットを締め込んで下さい。



3-3. 本体の取付け(PDA型)

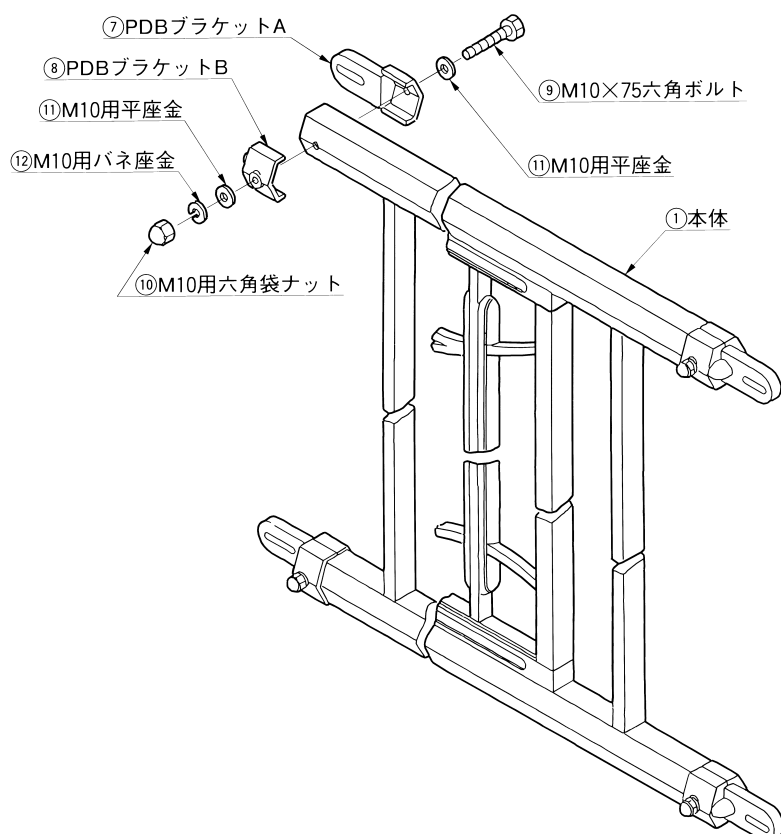


●先程取り外した柱カバーを取り付けて下さい。

●カバーを確実に取り付けましたらキャップを付属のビスで確実に固定して下さい。

<注意>
図はPDA-A型です。

3-4. 本体の取付け(PDB型)

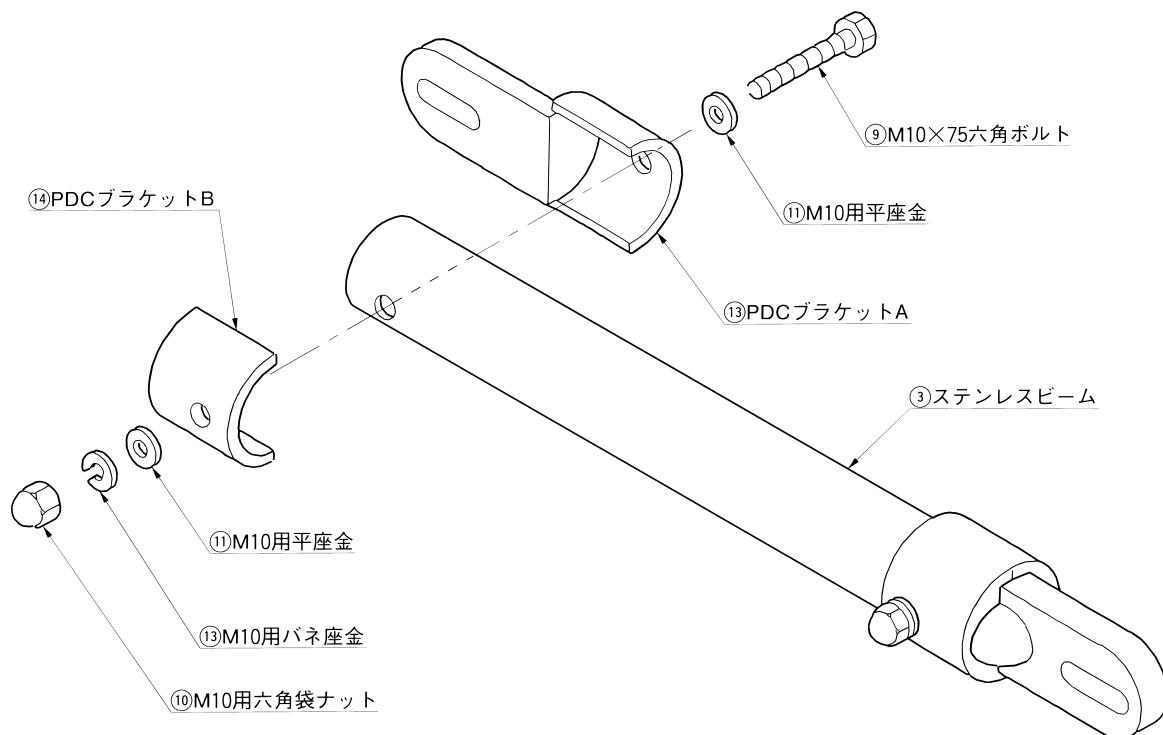


●上下段ビーム端部にPDBブラケットを確実に取り付けて下さい。

●その後、3-1、3-2、3-3の要領に従って施工して下さい。

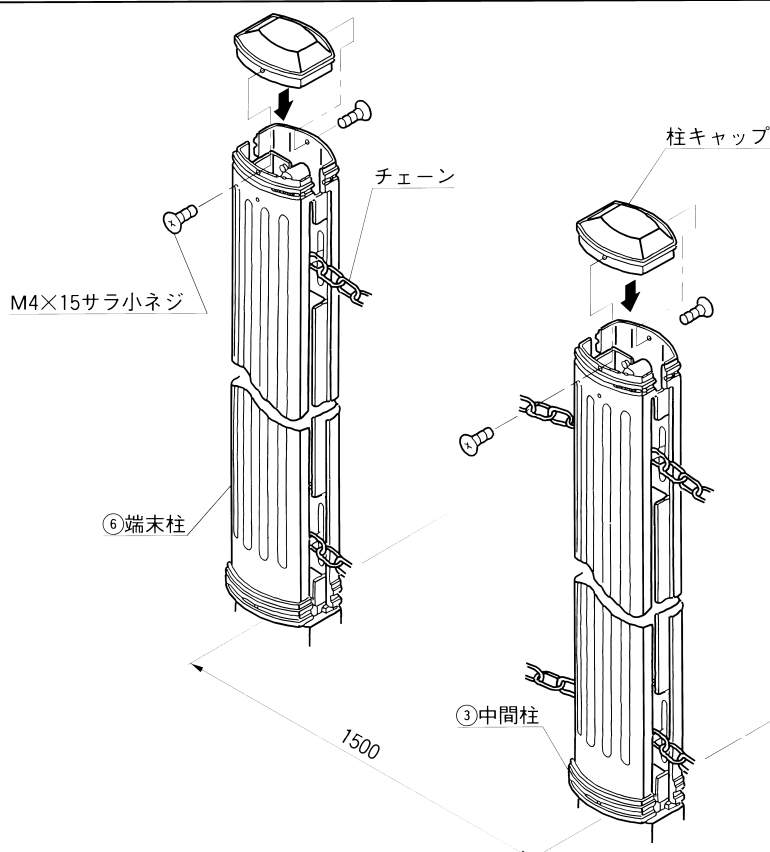
<注意>
図はPDB-A型です。

3-5. 本体の取付け(PDC型)



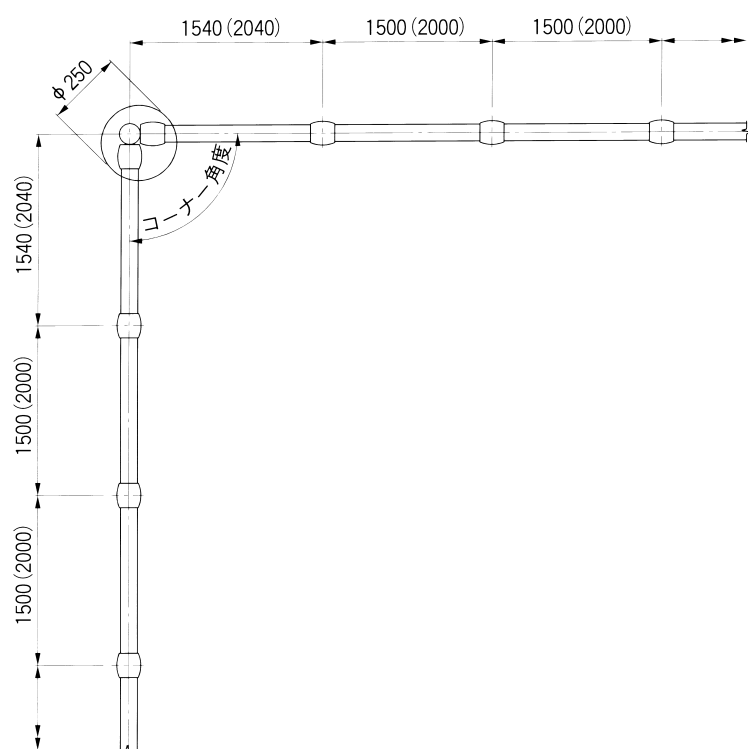
- ステンレスビームの両端にPDCブラケットを確実に取り付けて下さい。
- その後、3-1、3-2、3-3の要領に従って施工して下さい。

4. PDチェーンガードの施工



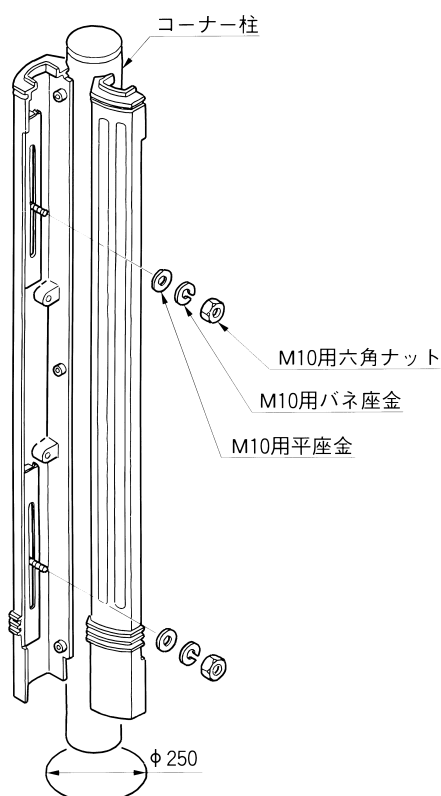
- 「2. 柱の施工」により柱を確実に固定した後、取付位置にある金具にチェーンをNBジョイントにて取付けて下さい。
- このときチェーンの長さは、支柱ピッチを1500として、1400程度が適当です。
- 柱カバー取り付けを確実にして下さい。ボルトのゆるみは、六角レンチ(M6用)にて締め付けて下さい。
- キャップを付属のビスにて確実に取り付けて下さい。

5-1. コーナー部の施工(特注)



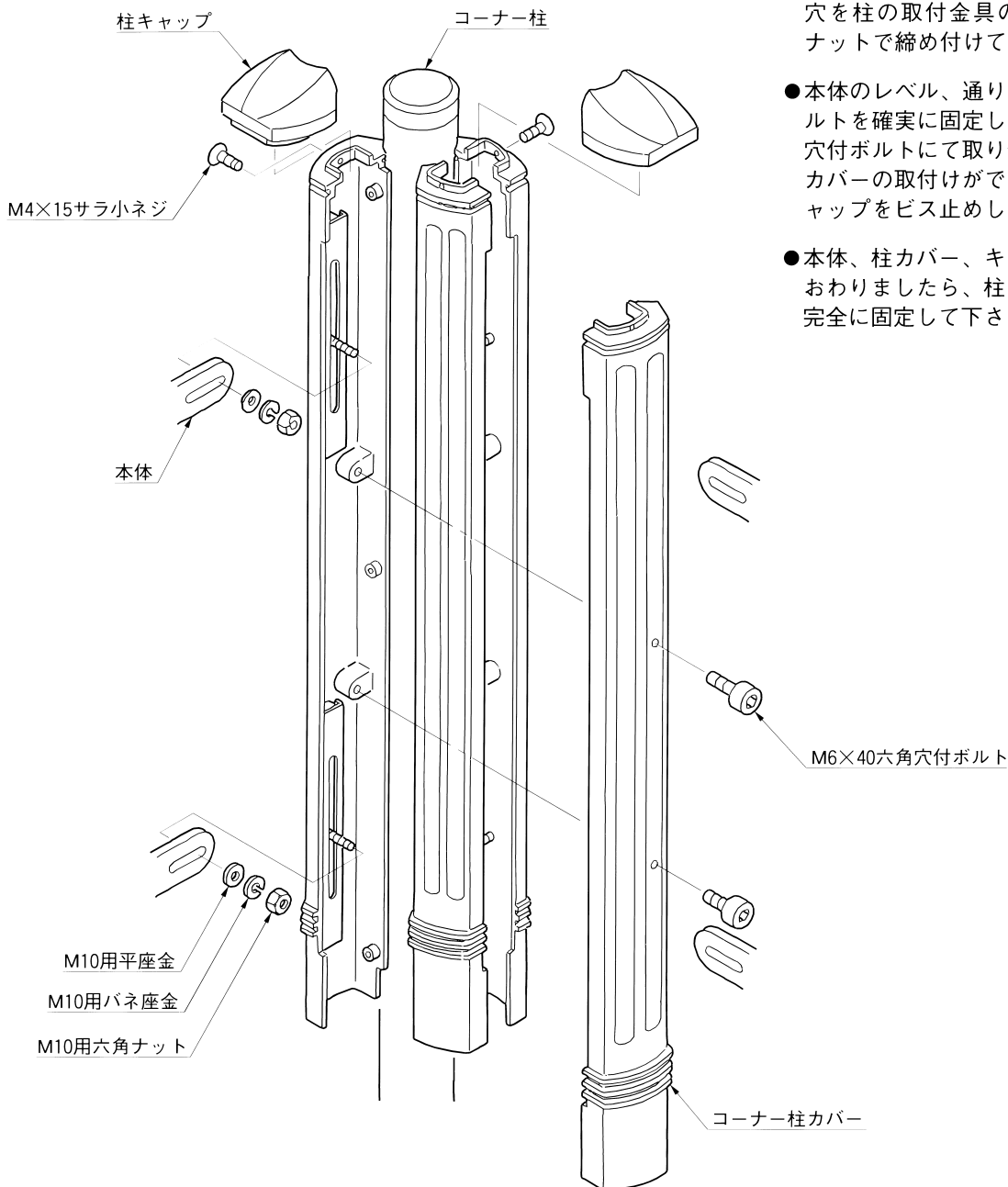
- コーナー柱をはさむ両側のスパンは図のようになります。
- コーナー柱は、発注時の御指示により $90^\circ \sim 180^\circ$ を特注製作致します。
- 下穴は $\phi 250$ 程度が必要です。

5-2. コーナー部の施工(特注)



- 中間柱と同様にしてM6用六角レンチにて柱カバーを取り外して下さい。
- 上下の本体取付金具に仮止めしてあるナット座金を取り外しておいて下さい。
- 柱を下穴に差し込んで下さい。この時はまだモルタルなどで柱を固定しないで下さい。

5-3.コーナー柱の施工(特注)



- 3-2と同様にして、本体の上下の取付穴を柱の取付金具のボルトに通し、ナットで締め付けて下さい。
- 本体のレベル、通りを調整してからボルトを確実に固定し、柱カバーを六角穴付ボルトにて取り付けて下さい。カバーの取付けができましたら、柱キャップをビス止めして下さい。
- 本体、柱カバー、キャップの取付けが完了したら、柱をコンクリートで完全に固定して下さい。

工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

C108

IE-D①